

第6回城端線・氷見線再構築会議 議事録

日 時：令和8年3月26日（木） 10：05～10：50

場 所：富山県庁4階大会議室

出席者：出席者名簿のとおり

1 開会

（事務局）

ただいまから第6回城端線・氷見線再構築会議を開催いたします。開会に先立ちまして、新田会長からご挨拶を申し上げます。

2 挨拶

（新田会長）

年度末まで1週間を切りました。それぞれ大変難しい時期だと思っておりますが、お集まりいただきありがとうございます。また、今日も国土交通省北陸信越運輸局鉄道部長の秋山敬介様にご参加いただきましてありがとうございます。これまでの会議では、交通系 IC カードを導入するための整備方針を決めたり、目に見えて変わる取組みである新しい車両のデザインや仕様なども決めてまいりました。前回の会議では、再構築実施計画の変更認定の申請に向けた対応、また、本格化しております地上設備工事の実施に伴い、ダイヤに影響が出ることについても情報共有し、協議をしたところです。そして、利便性向上の第一弾として、今月14日に全ての駅で交通系 IC カードの利用が可能となり、大変嬉しいセレモニーを行わせていただきました。着実に再構築事業が進んでいるところです。

今日は、再構築実施計画にも記載している運行本数の増加とパターンダイヤ化、鉄道施設整備の進捗状況、事業費の増加などについて協議させていただきます。

城端線・氷見線が、将来にわたり多くの県民の皆様に愛され、持続可能な路線となるよう、引き続き皆様と共に、知恵を絞り、汗をかいていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

（事務局）

本日の出席者のご紹介につきましては、お手元の出席者名簿の配布を持って代えさせていただきます。

それでは以後の議事の進行は会長の新田会長にお願いいたします。

3 議事

（1）運行本数の増加とパターンダイヤ化について

（新田会長）

それでは議事に入ります。

最初ですが、まず移管後の利便性の向上策であります、運行本数の増加とパターンダイヤ

化について協議をさせていただきます。再構築実施計画の認定以降、ICカードや新型車両に関する事項など、利便性向上策の取組みを進めてきております。今回は、移管後の城端線・氷見線の運行本数やダイヤについて、今後精査が必要な路線の収支にも影響してくるので、本日協議をさせていただきます。

運行本数増とパターンダイヤ化の検討については、現在の運行事業者であり、新型車両の整備やレールの改修などを行っていただいている JR 西日本に行っていました。それでは JR 西日本の石原委員から説明をお願いします。

※石原委員から資料1「運行本数の増加とパターンダイヤ化について」に関して説明

(新田会長)

石原委員、ありがとうございました。運行本数の増加、パターンダイヤ化について説明いただきました。それでは、委員の皆様からご意見があればお願いいたします。

(出町委員)

本当に利便性が高くなると思っておりますが、資料には平日のダイヤを想定とあります。土日祝日のダイヤはどう考えているのでしょうか。土日祝日のパターンダイヤに影響はあるのかどうかということです。また、移管に向け実際のダイヤを検討していく中で、少しでも沿線の市民が乗ろうと思えるダイヤ編成にすることが必要だと思っております。日中のパターンダイヤ化も重要ですが、通勤・通学者のことを考えると、朝、夕のダイヤもより魅力的なものにする必要があると考えております。高岡市としては、より多くの方に城端線・氷見線をもっと利用していただけるように、市民がより参画する仕掛けや観光客の誘致等に努めていきたいと思っております。

(菊地委員)

私も高校時代、氷見線を利用しておりましたので、朝の通勤・通学時間の増便は非常にありがたいと思っております。氷見線沿いは高校もたくさんあり、利用する高校生も多いです。朝もですが、特に夕方は、部活があったり、様々な都合で帰宅時間がばらけます。そういったこともありますので、ぜひ帰宅時間に便数が多くなるよう配慮していただけると、ありがたいと思っております。それから、城端線沿いにも高校がたくさんありますし、氷見から氷見線・城端線を乗り継いで通学する生徒も多数いらっしゃいます。この見直しのポイントのところにもありましたけれど、この両線の乗継ぎ時間の更なる短縮も、ダイヤを具体的に検討される際には、ご配慮いただけるとありがたいと思っております。

(新田会長)

ありがとうございました。それでは石原委員から回答をお願いします。

(石原委員)

まず出町委員からご意見いただいた件ですが、現在も基本的なダイヤは平日・休日ほぼ同じですので、同様に想定しております。休日におけるパターンダイヤも可能であると思っています。現在は、富山直通だとか、休日には高岡止まりなど、若干、平日と休日で差異はありますので、その辺はこれからどうしていくかを対応していくこととなります。それから、気運醸成や観光客の誘致という話もありましたが、我々としましても、気運醸成、それから氷見線の魅力発信に関しては、我々としましても力添えしたいと考えております。それから、菊地委員からの学生様の利便性に配慮したダイヤについて、もちろん今想定しているダイヤは、それを踏まえたものとなっていますけれども、よりきめ細かなダイヤにしていくことを検討していきたいと思っております。

(新田会長)

ありがとうございました。その他ご意見・ご質問はありますでしょうか。

(夏野委員)

まず、資料1②の車両の増便・増車 15時～23時台について、氷見線はすごく車両数・便数ともに増えるのですが、城端線はあまり変わらない印象を受けます。現在でも十分輸送に応じた形になっているということかもしれません。「+1両」は多分、今3両のところを4両にするということだと思いますが、それで十分なのか、氷見線との差がこれほど出るのはどういう理由でしょうか。

それから、単線、パターンダイヤで、駅間の距離が違うため、どうしても待ち合わせ、行き違い待ちは出るわけですが、必死になって駆け込んだところ、すごく待ち時間が発生するということがないようにしていただきたいと思っております。限界があるとは思いますが、できるだけ例えば高岡に近い方ではあまり待ちが出ないようなパターンにさせていただくと、多くの人は利便性が高くなると思うので、その点をお願いします。

それから直通便について、現在、富山直通は（城端線の）上りだけです。昔は下りもあったのですが、直通便は設定不可能なのでしょうか。接続で改善するということでしょうか。

最後に、あいの風とやま鉄道線と相互の接続の話がありますが、実は新幹線の関係もありまして、現在、東京 16時 20分台の新幹線に乗ると、新高岡駅に 18時 50分に着きます。城端線の城端行きは 18時 51分に発車します。さすがに乗り換えられないので、こういうことがないようにお願いしたいと思っております。パターンダイヤはある程度大事だと思っておりますし、新幹線を利用する人は平日のビジネス要素もあるので、癖をつけてしまえば案外乗られるのではないかと思っておりますが、新幹線に 1、2分の差で乗れず新高岡駅で 40分待ちと言われると辛いので、新幹線のこと当然考えておられるとは思いますが、その点についてもお忘れなきようお願いいたします。

(齊藤委員（田中委員代理）)

観光客の方が新幹線を利用して来られた後、城端線・氷見線に乗り換えられる際の配慮が必要だと思います。あいの風とやま鉄道線との接続も非常に大切です。観光客のご利用の利

便性、おそらく日中になると思いますが、その辺のダイヤも含めてご検討いただきますよう
よろしく願いいたします。

(石原委員)

夏野委員からのご意見については、氷見線を優遇しているわけではなく、現在の城端線が
既に2両での運行が多いこともありますので、増車数が小さく見えるかもしれませんが、現
在の混雑状況を加味した形で確保できるダイヤにしております。それから、行き違いについ
てはこれから詳細を詰めていく中で、しっかりとそういった点も含めて考えていきたいと思
います。

それから、両委員からお話のあった新幹線との接続について、パターンダイヤと新幹線と
の微妙な接続が仮に出てきた場合は、利用者数などしっかりとバランスを考えて検討してい
きたいと思います。

富山直通の話については、今のパターンダイヤは現行のダイヤを基本的に考えておりますの
で、今後、そういった検討も、需要とのバランスを加味して検討していきます。

(新田会長)

ありがとうございました。伍嶋委員お願いします。

(伍嶋委員)

当社では、現在、一部の時間帯において、高岡駅と富山駅間でパターンダイヤを実施して
います。今後、高岡駅での、城端線及び氷見線両線との接続の改善を図るという観点からダ
イヤの検討を進めてまいりたいと思います。出町委員からは、イベントや観光客の誘致を図
られるということでしたので、これまでも当社では本線上において、沿線自治体のイベント
については、連携を図りながら、割安の切符を販売したりとか、増車をかけたりというこ
とをやっておりますので、こういったことについては、しっかりと沿線4市のイベント等に注
目しながら連携を図ってまいりたいと思います。

また菊地委員からは、通学、特に高校生の要望がございました。この両線を通学で利用さ
れる方が多いという特徴を十分に踏まえ、ダイヤについてもできるだけそういったことを考
慮しながら、ダイヤ編成を進める必要があると思っています。特に高校生の皆さんは、部活
動の地域移行もあり、学校が終わった後、色々な移動をされることも考えられますので、そ
ういう観点も踏まえて、ダイヤ編成を行っていく必要があると思っています。

両線の当社への移管後は、当社の本線と両線を同一の会社が一体運行することになります
ので、この統合メリットを十分に活かして、更に利便性の高いダイヤ編成にしたいと思っ
ていますし、それが大変重要であると考えております。

また、先ほど夏野委員からもご意見ございましたが、やはりその際には、北陸新幹線との
接続についても充分考慮しながら、調整を図っていきたくないと考えております。

また、齊藤委員からお話がありましたけれども、観光客にとって使い勝手の良いものに
ということも、ニーズを踏まえながら、ダイヤの組替えを行っていきたくと思っています。最後

になりますが、各路線との接続を完璧にする、いろいろな事情を考慮するのは中々難しいことですが、今いただきました意見も踏まえ、移管後の城端線・氷見線の新たなダイヤが、沿線の居住者はもちろん、ビジネス客や観光客の方々など、多くのお客様にとって利用しやすいものになるよう、十分検討してまいりたいと考えております。

(新田会長)

ありがとうございました。

移管に向けた今後の体制等の準備については、JR 西日本からご説明いただいた資料 1 ①、②を基本的な考え方として進めていくこと、移管に合わせた実際のあいの風とやま鉄道によるダイヤの設定時には、委員からいただいたご意見について極力反映できるものは対応いただき、あいの風とやま鉄道線や北陸新幹線との調整も行ったうえで、公表していくという方針でよろしいでしょうか。

(一同異議なし)

ありがとうございます。

(2) 鉄道施設整備の進捗及び事業費の増加等について

(新田会長)

項目の 2 番目、鉄道施設整備の進捗及び事業費の増加等についてです。まず、現在の鉄道施設整備の進捗状況について、JR 西日本金沢支社長の石原委員からご説明をお願いします。

※石原委員から資料 2 - 1 「鉄道施設整備の進捗について」に関して説明

※事務局から資料 2 - 2 「再構築事業費増加への対応等について」、資料 2 - 2 (参考資料) に関して説明

(新田会長)

ありがとうございました。鉄道施設整備の進捗及び事業費の増加等について、ご意見があればお願いします。

(出町委員)

鉄道施設整備の進捗に関連して、昨年 12 月に、JR 西日本の協力のもと、雨晴駅の上りホームに展望デッキを整備させていただきました。本当に多くの観光客に来ていただき良かったと思っております。このデッキ整備にあたり、JR 西日本のホームのかさ上げ工事と調整しながら進めさせていただき、色々ご協力いただいたということで、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

(菊地委員)

施設整備の件ですが、氷見線からかさ上げ工事が始まっていて、今は雨晴駅と島尾駅で工

事が完了しているということで、順次工事を進めていただきまして、感謝申し上げます。ありがとうございます。いよいよ氷見駅での工事が始まるとお聞きしておりますが、周辺は非常に民家も多く、深夜時間帯での工事となるため、前回も申しあげたかもしれませんが、住民への説明等はよろしくお願ひしたいと思ひます。また、かさ上げ工事の予定について、役所としても把握をし、住民の方へ情報提供していきたくと思ひておりますので、工事スケジュールの情報提供もいただければ大変ありがたいと思ひております。どうぞよろしくお願ひいたします。

(夏野委員)

連動改修について、今、JR 西日本で設計ということで、施工はあいの風になるのですよね。そうでないと 1/2 補助にならないわけですよ。設計の部分はあいの風からの委託事業というような形になるのでしょうか。今、設計を立ててしまっていると、1/3 補助になってしまうのではないかと心配しているのですが、そういうことはないのですよね。

(石原委員)

まず出町委員からのお話について、こちらこそありがとうございます。ここ最近の雨晴の盛り上がりと相まって、非常にご好評をいただいております、効果がすごいと思ひます。

菊地委員からありました、当然ながら、周辺にお住まいの方々をはじめ、しっかりとお知らせして対応していきたくと思ひます。しょうがないところはありますが、できる限り騒音の対応をしていきたくと思ひます。沿線市とのスケジュールの共有、これはしっかりと対応したいと思ひております。夏野委員からありました、連動改修の設計について、これは基本的には今我々の方で設計は進めていきますので、1/3 補助になると認識しております。

(齊藤委員 (田中委員代理))

終着駅である城端駅のホームの 4 両化工事、設計に入っているということですが、どういふ工事なのか教えてください。

(石原委員)

現在の城端線の 1 番ホーム (駅舎側) は 4 両対応になっているのですが、2 番ホームは 2 両までの対応になっています。パターンダイヤを実現していくためには、2 番ホームも 4 両対応が必要ですので、しっかりと終着駅として整備をしていきたくと思ひます。

先の補助率の件に戻りますが、なぜ今、設計が必要かということについては、スケジュール感として、今しっかりと進める必要があるためです。

(夏野委員)

供用を開始しないということで 1/2 という事なら、あいの風委託工事でやったら 1/2 ではないかと思ひうのですが、そのようなわけにはいかないのですか。

(石原委員)

供用開始前ですけど、設計して竣工させてしまいますので、中々難しいと思います。

(事務局)

先ほど述べましたように、計画策定時ではなく、最近国の方と調整してわかったものでございます。その上で、どういったものが1/3になるのか1/2になるのか調整した上で、このようになっております。今石原委員からお話があったように、基本的には設計という形で成果物ができ上がるということもあります。それについては1/3という枠組みです。完成はするがそれを供用しないものは、ただの移管のための準備行為ということで、第三セクターが行うものについては、1/2という整理がされています。

(秋山オブザーバー)

お気持ちはわかります。自治体の予算もそうですが、国も基本的に単年度予算なので、どこかしらで切っていかなければなりません。事務局から説明ありましたとおり、年度で一旦成果物を上げるという形で切らざるを得ないので、ご理解いただければと思います。

(新田会長)

ありがとうございました。また、詳細についてはコミュニケーションを取ってまいりたいと思います。よろしくをお願いします。

それでは、2項目目の再構築事業費増加への対応については、資料2-2で示した対応案どおりでよろしいでしょうか。

(一同異議なし)

(3) 新型車両デザインのサテライト展示の結果について

(新田会長)

3番目、新型車両デザインのサテライト展示の結果について、事務局から報告をお願いします。

※事務局から資料3「新型車両デザインのサテライト展示の結果について」に関して報告

(新田会長)

沿線4市それぞれで開催させていただきましたので、各市長から一言ずついただければと思います。

(出町委員)

イオンモール高岡でサテライト展示をやらせていただきました。車両模型をはじめ色々な展示物があり、関心を寄せる人もすごく多かった一方で、まだ再構築のことを十分ご存じでない方も多くいらっしゃったという話を聞いております。やはり気運をどんどん高めていくことが大切だと思っております。我々としても様々な機会を捉え、SNSや広報誌等を活用し、

どんどん市民の中で盛り上がっていくように努力したいと思っております。

(菊地委員)

氷見の方でも展示をさせていただきました。展示日が総選挙とバッティングしていたので、入込数としては多くなかったかもしれませんが、それでも私も見てきましたが、特にお子さんが興味深く見てくれているのは、やっぱり将来を担っていくみんなの興味を惹くということで、非常に良い企画であったと思っています。この新型車両が数年後に走るという非常に夢のあるお話ですので、私も事あるごとにPRさせていただいております。こうやって少しずつ氷見線・城端線の再構築の気運が盛り上がっていけばよいと思いますので、県にも周知活動についてお力添えをいただければ大変ありがたいと思っております。

(夏野委員)

チューリップ四季彩館で例年やっている春を呼ぶチューリップ展の会期中に実施しました。一定程度お客さんの入るイベントですし、今回展示させていただいて、特にここだけサイドビューの実寸展示も飾らせていただきました。案外電車を真横から見ることはないの、こんなに大きいのかという印象を持った人が多かったように思います。それとやはり関心が割と高かったのかなと思ひまして、先日14日のICカード導入の際も、鉄道愛好家の人がきていましたけど、彼らを見ていると、本当に期待されていることが分かります。この展示が本当に走るんだというようなことを言っている人がたくさんいたので、具体的な展示ができてよかったなと思っています。あと、せっかくのこの展示物、どこかで使うことも考えられると良いと思います。

(齊藤委員 (田中委員代理))

南砺市でも2月21日から3日間、土日祝日と市内のショッピングセンターで展示させていただきました。親子連れ、そして幅広い年代の方々にお越しいただきまして、非常に関心が高いと思ひました。特にデザインが格好良いと、子どもたちからこの電車に乗りたいという声も聞かれましたし、乗るのが楽しみだということで、非常に期待感が高いなど、多くのそういったご意見をいただいたところでございます。

(新田会長)

ありがとうございました。これからもこの気運醸成を更に進めてまいりたいと思ひます。それでは再構築会議のスケジュールについて、事務局からお願いします。

(事務局)

スケジュールの前に一つ補足いたします。先ほど夏野委員から、ぜひこの実寸大のデザインシートをどこかで展示できればという話がありましたが、現在、高岡市に協力いただき、城端線・氷見線の結節点となる高岡駅で展示できないかということで調整しております。また決まりましたらご連絡いたします。(3月末から展示開始)

※事務局から参考資料1「再構築会議のスケジュール」について説明

(新田会長)

来年度は、再構築事業として、新型車両の詳細設計と製造、鉄道施設の改良のための大規模な工事を実施することになります。また、昨年11月の再構築会議で決定した「城端線・氷見線事業構造変更プログラム」を策定することにもなります。

来年度も、計画の進捗状況を踏まえて、3回程度開催することとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、よろしくお願いいたします。全体を通して何かご意見はございますでしょうか。秋山オブザーバーいかがでしょうか。

(秋山オブザーバー)

冒頭、知事からICカードの式典のことをおっしゃいましたが、マスコミ各社で大きく取り上げていただきまして、本当にありがとうございます。これからも、報道各社におかれましては、いろいろと報道していただき、一緒になって気運醸成に取り組んでいただきたいとお願いいたします。それから、この再構築事業につきましては、これまで社会資本整備総合交付金でしっかり支援してまいりましたけれども、先ほど、資材高騰などにより、移管前の工事の事業費も増えるというお話がございました。運輸局といたしましても、引き続き要望額をしっかりと支援できますように、本省とともに予算獲得に動いてまいりますので、皆様からのご協力をぜひよろしくお願いいたします。それからもう一つ、事務手続的なお話で恐縮ですが、既に報道等ではご存知かと思いますが、令和8年度予算が年度内に成立するか非常に微妙な状況です。社会資本整備総合交付金の交付決定が遅れることも十分考えられます。予算の成立が遅れたとしても、遅れなかったとしても、事業の執行に当たりましては、交付決定前に事業に着手することのないように、くれぐれもご注意いただければと思います。

(新田会長)

ありがとうございました。

4 閉会

(新田会長)

地域交通法改正後の第1号認定の城端線・氷見線ですので、大変、全国的に注目が高いと思います。これからもご指導いただきまして、スムーズに進むように、よろしくお願いいたします。

その他いかがでしょうか。よろしいですか。

再構築事業の詳細な内容が詰まってくることにより、事業費の精査も進み、物価高騰等の影響も明らかになったことで、再構築事業費の増加とその対応について、本日は皆さんと協議しました。整備を担う JR 西日本とあいの風とやま鉄道におかれては、しっかり引き続き整備を行っていただきたいと思います。

また、運行本数の増加とパターンダイヤ化について、再構築実施計画でも記載していましたが、基本的な考え方を改めて整理しました。利用される皆様にとって最も利便性の向上が実感できるものだと思いますので、移管に向けて、鉄道事業者においてより良いダイヤとなるよう、検討を進めてもらいたいと思います。

それでは本日の議事は終了させていただきます。円滑な議事進行にご協力いただきありがとうございました。

(事務局)

それでは以上をもちまして本日の会議を終了とさせていただきます。ありがとうございました。